

令和2年4月1日施行

1. 原稿は、MS Word または PDF で作成し、メールで経済研究所運営委員会へ提出する。投稿の時点で完成原稿とする。原稿は、横書きとし通し頁番号を付す。原稿の最初のページには、種類(論文、研究ノート、調査、資料、書評、翻訳、ディスカッションペーパー等)、題名(和文と英文)、執筆者名(和文と英文)、和文要旨(400字以内)、英文要旨(200語以内)、和文・英文キーワード(5語以内)を明記する。
2. 原稿の枚数は、和文原稿はA4サイズ縦置き(ページ設定は40字×30行)で25枚まで、英文原稿はA4サイズ縦置き(ページ設定は40字×28行)で40枚までとする。ただし、事前に運営委員会の了承を得た場合はこの限りではない。
3. 本文における章、節などの区分は、原則として半角数字を用いて次のようにする。
 - 大見出し 1.
 - 中見出し 1.1.
 - 小見出し 1.1.1.
4. 表及び図は、原則として本文中に入れ、和文原稿では第1表、第2図などと表記し、英文原稿では Table 1, Figure 2 などと表記する。表と図の各々通し番号とする。
5. 表及び図に関する注、参考文献などは、この順序で表や図の下に明記する。
6. 本文中の注は、原則として文末注の形でまとめて記す。
7. 本文中の注番号は、アラビア数字で全ページの通し番号とし、その位置は右肩斜め上とする。
8. 引用文献及び参考文献については、下記の方法を採用する。
 - 書物名、雑誌名、新聞名は、日本語の場合は『 』、英語の場合はイタリック体で表示する。論文名は、日本語の場合は「 」¹、英語の場合は“ ”²で囲むこと。
9. 文献表記の事例
 - 9.1. 日本語文献
 - 9.1.1. 書籍
 - 著者名(発行年)『書名』出版社名、参考頁。
 - 9.1.2. 書籍の分担執筆
 - 著者名(発行年)「論文名」書籍の編者名『書名』出版社名、参考頁、所収。
 - 9.1.3. 雑誌論文
 - 著者名(発行年)「論文名」『論文掲載誌名』論文掲載巻号、参考頁。
 - 9.1.4. 新聞記事
 - 「記事タイトル」『新聞紙名』掲載年月日(URL:該当する場合)(参照年月日:該当する場合)
 - 9.1.5. ウェブサイト

発行主体（発行年）「サイト名」(URL)(参照年月日)

9.2. 英語文献

9.2.1. 書籍

著者名(発行年), 書名, 出版社名, 参考頁.

9.2.2. 書籍の分担執筆

著者名(発行年), “論文名,” in 書籍の編者名, 書名, 出版社名, 参考頁.

9.2.3. 雑誌論文

著者名(発行年), “論文名,” 論文掲載誌名, Vol.●, No.●, 論文掲載頁.

9.2.4. 新聞記事

「記事タイトル」『新聞紙名』掲載年月日(URL : 該当する場合)(参照年月日 : 該当する場合)

9.2.5. ウェブサイト

発行主体（発行年）「サイト名」(URL)(参照年月日)

10. この要項の改廃は、運営委員会の議を経て、研究所長がこれを行う。

附則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

この要項は、令和3年11月17日に改正し、令和4年4月1日に施行する。